

東京言語研究所 主催

# 第9回 教師のためのことばワークショップ

「ことば」という視点から英語教育を捉え直す——新学習指導要領全面実施を前に

周知のように、一昨年3月に小学校と中学校の、そして、昨年3月に高等学校の新しい学習指導要領が告示されました。この改訂において、日本語（国語）と英語を含む、ことばの位置づけも少なからず変わりました。一方、巷では、小学校英語の一部教科化、「コミュニケーション」への傾倒、「論理国語」「文学国語」の導入、大学入試での英語民間試験の利用などが注目を集め、本質的な議論よりも表面的な対策の検討ばかりが話題になっています。こうした状況を受け、今年度、9回目を迎える、東京言語研究所主催の「教師のためのことばワークショップ」では「「ことば」という視点から英語教育を捉え直す——新学習指導要領の全面実施を前に」という全体テーマのもと、講義とワークショップにより、理論と実践を有機的に関連づけた試みを継続いたします。

また、7月中旬に刊行される『ことばからはじめる小学校英語教育』の執筆者も多数登壇します。今回受講される方は書籍を特別価格にて販売いたします。

日時：2019年8月17日(土) 10:00～17:30

18日(日) 10:00～16:30

場所：東京言語研究所教室（東京・東新宿 新宿TXビル 2階ラボ教育センター内）

## ■ プログラム:

### 1. 開講式

### 2. 【講演】

鳥飼玖美子氏（立教大学名誉教授）『こどもの英語にどう向き合うか（仮）』

### 3. 【講義】

17日 窪菌晴夫氏（国立国語研究所副所長、日本言語学会前会長）『教科横断的なことばの教育』

大津由紀雄氏（明海大学教授、慶應義塾大学名誉教授）『言語の獲得と理解』

三森ゆりか氏（つくば言語技術研究所所長）『英語の前に母語の能力を構築する——言語技術の有効性』

※1日目講義終了後に懇親会があります（任意参加、参加費別途）

18日 渡辺香代子氏（埼玉県杉戸町立西小学校教諭）

『母語から考える英語の語順——小学校における、国語科と連携した「ことばの教育」の視点から』

寺尾 康氏（静岡県立大学教授）『言い間違いの分析からみることばの単位』

末岡敏明氏（東京学芸大学附属小金井中学校教諭）『音・文字・ことば ～その不思議で深い関係』

松井孝志氏（Sアカデミー講師）

『英語入門期、再入門期における handwriting 指導～書体と補助線と運動技能』

### 4. 全体ディスカッション

### 5. 閉講式

<講義要旨及び申込方法等の詳細は研究所ホームページ>

(<http://www.tokyo-gengo.gr.jp>)をご覧ください。順次掲載いたします。

■ 定員：40名（定員になり次第締め切ります）

■ 受講料：11,000円（消費税込）

■ 申込方法:① HPの「受講申込書フォーム」にて申込

② 申込書に記入の上、郵送もしくはFAX申込

申込締切  
8月13日(火)

要事前  
申込

お問合せ:東京言語研究所

公益財団法人 ラボ国際交流センター

〒169-0072 新宿区大久保 1-3-21

新宿TXビル 2階

TEL:03-6233-0631

FAX:03-6233-0633

E-mail: [info@tokyo-gengo.gr.jp](mailto:info@tokyo-gengo.gr.jp)

後援:日本教育新聞社

一般社団法人 ことばの教育